



TOHOKU GAKUIN
UNIVERSITY

雑誌業務について

平成23年度東北地区大学図書館協議会
フレッシュ・パーソンセミナー

2011年11月17日
東北学院大学中央図書館 逐次刊行物係
佐藤 恵

「雑誌」の定義

1. 雑多な事柄を記載した書物。
2. 複数の筆者が書き、定期的に刊行される出版物。
週刊・月刊・季刊などがある。

マガジン。

(“雑誌” . デジタル大辞泉. ジャパンナレッジ. (オンラインデータベース))



「雑誌」の定義

では、図書館では？

1つのタイトルのもとに、一般に巻次,年月次を追って
個々の部分（巻号）が継続して刊行される資料

（日本図書館協会目録委員会編『日本目録規則 1987年版 改訂3版』
2006）

大学図書館では？

専門誌・学（協）会誌・紀要・論集等を総称して「雑誌」と呼ぶケースが多い。ジャーナルとも呼ばれる。「学術雑誌」が大半。

学術雑誌と一般雑誌

	編集	種類	内容	購読層	特徴
学術雑誌	<ul style="list-style-type: none"> ・学(協)会 ・研究機関 ・商業出版社 	<ul style="list-style-type: none"> ・学(協)会誌 ・研究紀要 ・ニュース誌 ・レター誌 ・テクニカルレポート ・会議録 ・予稿集 ・抄録誌 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者からの投稿論文(原著論文) ・レビュー論文 ・サーベイ論文(調査論文) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学術研究機関 ・研究者 ・大学図書館 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・発行部数が僅少 ・流通が限定的 ・学会・協会員限定頒布の場合あり ・高額 ・査読あり(内容の審査)
一般雑誌	商業出版社	<ul style="list-style-type: none"> ・文芸雑誌 ・PC雑誌 ・経済誌 ・漫画雑誌 etc... 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライターによる取材記事 ・著名人に執筆依頼したコラム等 ・教養的・趣味的 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の年代 ・ " 文化層 ・ " 趣味層 	<ul style="list-style-type: none"> ・発行部数が多い ・入手手段も多様 ・安価

大学図書館における学術雑誌

<利用者>

- ・ 研究分野の最新動向を知りたい
- ・ 研究に必要な論文をいち早く入手したい



<学術雑誌>

- ・ 研究動向が顕著に現れる（研究成果の発表の場）
- ・ 信頼できる情報（査読による質の保証）
- ・ 速報性が高い



<図書館>



コーディネーター



学術雑誌の選定

☆必要な雑誌の見極め

☆コア・ジャーナルの収集

〈コア・ジャーナルとは？〉

ある専門分野において、重要性が高いとみなされている
一群の雑誌

(日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編『図書館情報学用語
辞典』第2版, 2002)

⇒大学図書館におけるコア・ジャーナルの解釈

- ・ 学生の学習・教育のために備えておく必要のあるもの
- ・ 複数の分野で利用される基本的なもの

学術雑誌の選定

☆選定の方法

- ・ 教員選書（アンケート調査含む）
- ・ 図書館選書
- ・ 抄録誌・索引誌の参照
- ・ 利用頻度：利用者ニーズの傾向を把握
- ・ 引用頻度：例）インパクトファクター

Thomson Reuters社発行のJournal Citation Reportsで発表される指標。

特定の1年間において、ある特定雑誌に掲載された平均的な論文」の引用頻度を示す尺度。

一般に、その分野における雑誌の影響度を表す。

- <注意点>
- ・ 論文の影響度をはかる指標ではない
 - ・ 分野をこえて比較できる絶対的指標ではない
 - ・ インパクトファクターが付与されていない雑誌に価値がないわけではない

雑誌の契約形態

1. 外国雑誌（代金先払い）

大多数の外国雑誌が該当

契約期間	1月-12月（←商習慣の違いによる）
発注期限	前年10月末日
支払形態	翌年4-5月に一括支払or契約期間前（前年12月）に全額支払
契約期間中の追加・中止	不可
納品形態	国内代理店を利用する場合 ⇒一括発送システム 最新号が出るたびに 出版社→代理店配送基地に集約→一括発送 というプロセスを経て契約先へ届けられる 出版社と直接契約の場合 ⇒船便・航空便等で直接送付

雑誌の契約形態

1. 外国雑誌（代金先払い）

大多数の外国雑誌が該当

メリット	<p>＜国内代理店を利用する場合＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 配送基地で欠号管理（出版社へのClaim）をしてくれる・ Webで発送履歴を確認できるため、受入状況の確認が容易・ 出版社との直接取引が不要
デメリット	<p>＜国内代理店を利用する場合＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 未納・欠号の場合、精算処理が必要 <p>＜出版社と直接契約する場合＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 言語の問題・ 図書館側が欠号管理を行うことが多い <p>＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 前払いのリスク

雑誌の契約形態

2. 外国雑誌（後払）

契約期間	1月-12月
発注期限	前払外国雑誌の付録or別冊：前年10月末 単体タイトル：11月-12月
支払形態	後払い (不定期刊行or刊行未定のものは発行された都度払)
契約期間中の追加・中止	不可
納品形態	代理店経由（一部出版社と直接契約あり）
メリット	<ul style="list-style-type: none">・当該年度内の予算執行が可能・未納精算処理が不要
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・一括発送システムに乗らない場合、Webでの発送履歴が残らない

雑誌の契約形態

3. 国内雑誌

契約期間	4月-翌年3月
発注期限	契約前年度の1月ごろまで or 随時発注可能(一部除く)
支払形態	納品都度払い or 完納前・完納後一括払い
契約期間中の追加・中止	可
納品形態	市販雑誌：契約書店による直接納品 学（協）会誌・各大学論集紀要等：郵送による納品
メリット	<ul style="list-style-type: none">・当該年度内の予算執行が可能・予算年度と契約期間が合致するので、予算管理が容易・確実に納品される
デメリット	特になし

外国雑誌契約 年間業務スケジュール（例）

1) 契約年の4月以降に予算執行する場合（「会計年度独立の原則」に則った支払方法）

	2011年										2012年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2011年1-12月契約	2011年1-12月契約購読											納入✓切	未納分 精算戻入
2012年1-12月契約	支払				教員購読意向調査	見積合わせ	発注	受入用契約データ作成			2012年1-12月契約購読⇒		

2) 契約年の前年のうちに予算執行する場合

	2011年										2012年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2011年1-12月契約	2011年1-12月契約購読(代金支払いは2010年12月)												納入✓切 精算戻入
2012年1-12月契約					教員購読意向調査	見積合わせ	発注	受入用契約データ作成			2012年1-12月契約購読⇒		
								支払					

※上記は一例であり、館によってスケジュールは異なります

受入

☆雑誌受入（チェックイン）

⇒雑誌が到着するたびに、受入記録を作成
受入巻号・刊行年月日・受入年月日・価格等を
記録

⇒NIIの総合目録システム（NACSYS-CAT）への
所蔵登録

登録	欠号	2124	*				20111114	20111108	*	1399		2011	*	
合併号入力	巻	号	通号	P	C	T	受入日	刊行日	納入価格	処理	年度	OPAC表示用コ		
修正	単冊	2123					2011.11.09	2011.11.01	1,399	配架済	2011			
修正	単冊	2122					2011.10.28	2011.10.21	800	配架済	2011			
修正	単冊	2121					2011.10.13	2011.10.11	800	配架済	* 2011			
修正	単冊	2120					2011.10.05	2011.10.01	1,399	配架済	* 2011			
修正	単冊	2119					2011.10.03	2011.09.21	800	配架済	* 2011			
修正	単冊	2118					2011.09.15	2011.09.11	800	配架済	* 2011			
修正	単冊	2117					2011.09.06	2011.09.01	1,399	配架済	* 2011			
修正	単冊	2116					2011.08.29	2011.08.21	1,399	配架済	* 2011			
修正	単冊	2115					2011.08.23	2011.08.11	800	配架済	* 2011			
修正	単冊	2114					2011.08.08	2011.08.01	1,399	配架済	* 2011			

図書館システム雑誌受入画面の一例

NACSYS Webcat: 詳細表示

[\[利用の手引き\]](#) [\[検索画面に戻る\]](#)

判例時報 / 判例時報刊行会<ハンレイ ジホウ>. -- (AN00328901)
1号 (1953.6)-. -- 東京 : 日本評論新社, 1953-
注記: 総索引 1号-1500号: 「判例時報総索引」 判例時報社編刊 「判例評
論」とも; 法律時報姉妹誌; 50号以降 「判例評論」の綴込みあり (不
定期刊行); 出版者変更: 日本評論新社 (-354号 (昭38.12.21))→判例時報
社 (355号 (昭39.1.11)-); 発売者: 日本評論社 (355号 (昭39.1.11)-);
表紙の責任表示は354号 (昭38.12.21)まで
ISSN: 04385888
別タイトル: 判例評論; 判時
著者標目: 判例時報刊行会<ハンレイ ジホウ カンコウカイ>

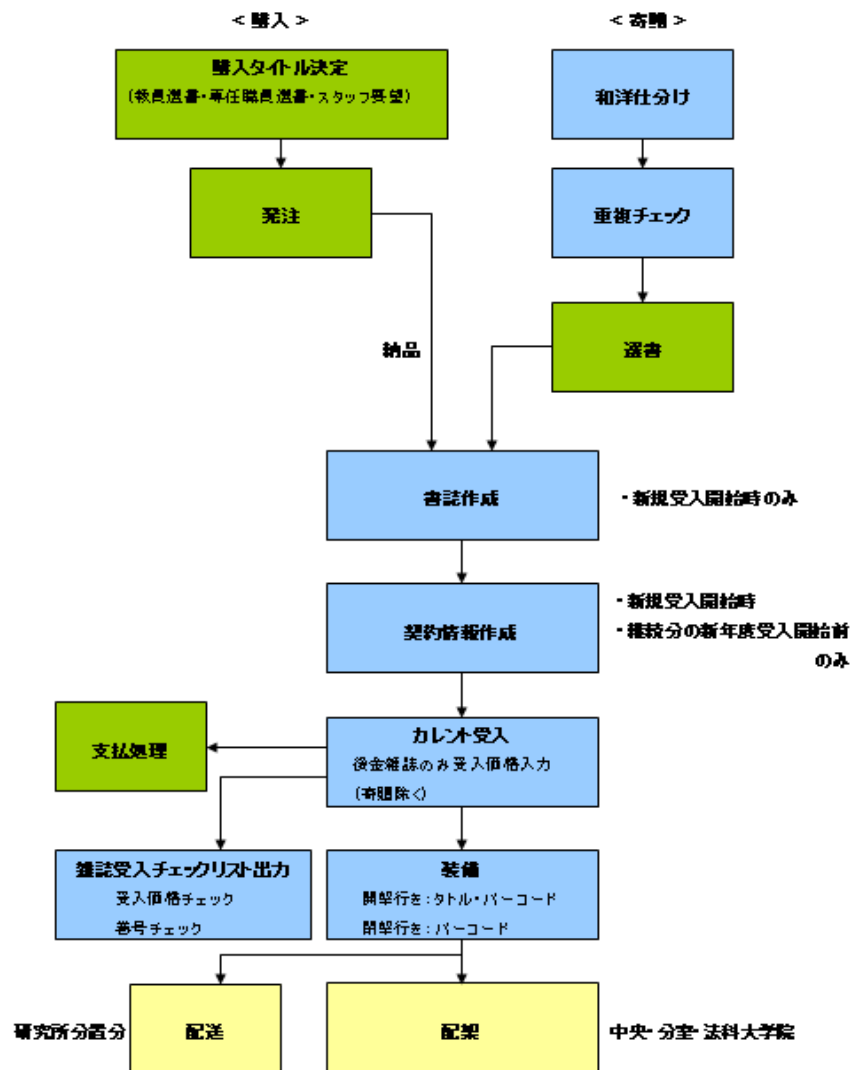
所蔵図書館 519

[IUJ](#) 1-1925<1953-2006>+
[IPU](#) 1956-1970, 1974, 1976-2015, 2017-2110, 2112-2115, 2118-2121<2007-2011>+
[Oxford](#) B.J.L. 29, 37-70<1954-1956>
[SOAS](#) 600-1344, 1546-1650<1970-1998>+
[いわき明大](#) 1406-1505<1992-1994>
[つくば国際大](#) 1500-1872<1994-2004>
[ノースアジヤ](#) 1-1226, 1228-1242, 1244-1278, 1278-2122<1952-2011>+
[清女](#) 1
[フェリス](#)
-197
[亜大](#) 1-2

所蔵更新結果
(NACSYS-Webcat)

雑誌受入業務フロー<本学の場合>

雑誌受入業務の流れ



外国雑誌の未着・欠号処理

☆主な原因

- ・ 予約手続きの遅れ
- ・ 輸送事故
- ・ 刊行遅延
- ・ 国内代理店・出版社のミス

☆クレーム方法

- ・ 国内代理店の一括発送システムを利用する場合
⇒代理店の集荷基地に出版社から送られる雑誌を集めた時点で欠号請求を行うことが多い
- ・ 直送の場合
⇒こまめなチェックを行い、未着・欠号が出たら速やかに出版社へ。クレーム受付期間（平均90日程度）を過ぎると受け付けられない場合もあるので注意が必要

雑誌業務内容<本学の場合>

	項目	業務内容
1	予算管理に関する業務	<ul style="list-style-type: none">・ 予算原案作成・ 決算資料作成
2	契約・選書・発注・支払に関する業務	<ul style="list-style-type: none">・ 各学科継続雑誌購入確認（各学科図書委員経由）・ 書店・代理店・学会・出版社に対する発注・支払・ 外国雑誌契約・ 外国雑誌納品状況調査・財務当局への報告・ 外国雑誌未納分精算

雑誌業務内容<本学の場合>

	項目	業務内容
3	雑誌受入	<ul style="list-style-type: none">・ローカル書誌登録・修正・受入・契約情報登録・修正・欠号調査・装備
4	製本	<ul style="list-style-type: none">・製本リスト作成・製本発注入力・製本予算調整・製本業者への発注（資産製本）・施設課への発注（非資産製本）・製本登録・配架

雑誌業務内容<本学の場合>

	項目	業務内容
5	目録・所蔵	<ul style="list-style-type: none">・ 雑誌目録作成・ NII雑誌所蔵登録・更新・ NIIレコード調整によるローカルデータ修正
6	電子ジャーナル (EJ)	<ul style="list-style-type: none">・ 動向調査・導入候補選定・ 契約・支払処理・ フリーEJ・冊子体付録EJの閲覧可能範囲の 接続確認・ タイトルリスト登録・修正
7	その他	<ul style="list-style-type: none">・ 各種委員会資料作成・ 統計調査（文科省・日図協・JUSTICE等） 回答作成・ 学内外調査回答作成

雑誌年間業務スケジュール<本学の場合>

月	業務内容
通年	受入 後払雑誌支払処理 発注処理（後払新規のみ） 契約情報修正・書誌データ管理
4月	前払外国雑誌前年度下期納品状況調査（10-3月分）集計
	前年度予算執行における財務課提出用決算資料作成
	前年度図書原簿（資産製本分）出力
	当年度雑誌購入予算資料作成（図書館委員会提出用）
	移管雑誌の移動・データ修正
	調査回答作成 JUSTICEコンソーシアム「契約状況調査」
5月	調査回答作成 日本図書館協会「大学図書館調査票」 文部科学省「学術基盤実態調査」

雑誌年間業務スケジュール<本学の場合>

月	業務内容
6月	各種電子ジャーナル講習会企画・実施
	電子コンテンツ動向調査
7月	次年度継続購入雑誌(和・洋)アンケート配布
	雑誌製本準備・発注
8月	製本雑誌納品・登録
9月	次年度継続購入雑誌(和・洋)アンケート回収
	当年度補正予算および次年度当初予算編成開始
	財務提出用上期決算資料作成
	前払外国雑誌業者選定・見積合わせ(～10月中旬)
10月	前払外国雑誌納品状況調査(4-9月分)
	前払外国雑誌予約について、図書館委員会承認

雑誌年間業務スケジュール<本学の場合>

月	業務内容
10月	前払外国雑誌予約（発注）
11月	外国雑誌契約書取交わし
	当年度補正予算申請締め切り
	電子ジャーナル契約業務（1-12月契約分）
	次年度後払雑誌（和・洋）見積依頼
12月	次年度当初予算申請締め切り
	次年契約分前払外国雑誌支払処理
	次年契約分前払外国雑誌受入準備（契約データ作成）
1-2月	次年度後払雑誌（和・洋）発注

雑誌年間業務スケジュール<本学の場合>

月	業務内容
3月	和雑誌受入一時停止（～3月末）
	後払雑誌予算執行状況最終確認
	納品状況調査に伴う洋雑誌受入一時停止（～3月末）
	前払外国雑誌未納分精算処理
	電子ジャーナル契約業務（4-3月契約分）

外国雑誌の価格

☆外国雑誌の価格が決まるまで

図書館における外国雑誌の購読価格の算出方法

{出版社冊子体価格（外貨建て）×為替レート}+国内代理店手数料

※一部出版社には円建ての価格設定もあり

外国雑誌の購読価格の上昇は、下記の要因で大きく変化する

- 1) 出版社価格（出版社の経営状況に大きく左右される）
- 2) 為替レート
- 3) 書店手数料

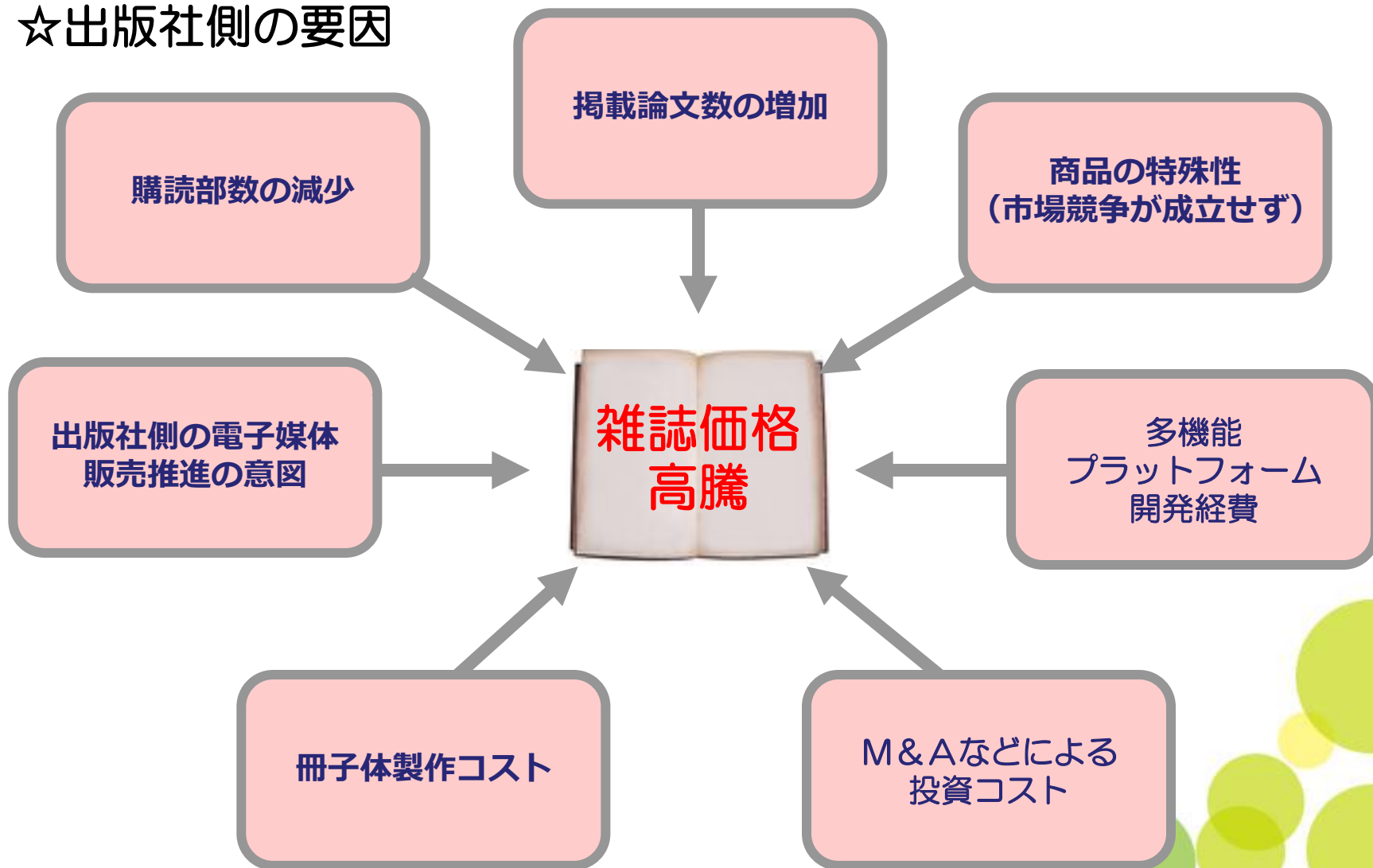
さらに！

「出版社価格」は1年間で7-10%コンスタントに上昇すると考えられているので、経済状況を勘案しなくても・・・

雑誌購入予算を毎年10%程度増額しなければ買い続けられない！？

外国雑誌の価格高騰の要因

☆出版社側の要因



外国雑誌の価格高騰の要因

☆為替レートの要因

円安⇒価格上昇

円高⇒価格上昇を抑制

☆日本における価格上昇率の特徴

<1990年代-2007年まで>

1995年以前⇒円高傾向が持続

1995年以降⇒円安傾向に転じ、価格が急騰。

<リーマンショック以降> 2008年秋

円高傾向の急激な進行

顧客離れを防ぐための出版社の戦略として

2009年 一部出版社が出版社価格の据え置きを発表

外国雑誌の価格高騰への対策

利用者への学術雑誌の安定的な提供を目指して
図書館がなすべきことは？

⇒継続購入タイトルの定期的な見直し

- ・コア・ジャーナルの確定
- ・教員への協力要請
- ・利用頻度の勘案
- ・重複所蔵の解消（複数館を持つ大学の場合）

⇒冊子→電子の切り替えによるコスト削減の検証

⇒分担購入・保存⇒外国雑誌センター館

電子ジャーナルとは？

インターネット上で提供されている学術雑誌
「オンラインジャーナル」「EJ」とも呼ばれる
高度な検索システムを備え、閲覧も容易
学術情報媒体の中心

電子資料の利用環境の整備

⇒大学図書館の最重要課題の一つ

日本における電子ジャーナル増加の背景

大学図書館の基本的な役割

『大学図書館は、今日、電子ジャーナルに代表される電子情報とインターネットの普及により、多様化し増大する各種情報を利用者である学生、教職員に効果的、効率的に提供し、また必要とされる情報関連のサービスを組織として行うことが重要となっており、こうした**電子情報と紙媒体を有機的に結びつけた新たな意味での「ハイブリッド・ライブラリー」**の実現が、大学図書館に強く求められている』

「学術情報基盤の今後の在り方について（報告）」（平成18年3月23日）

文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会研究環境基盤部会

学術情報基盤作業部会

電子ジャーナル契約の基本構造

<電子ジャーナル契約のキーワード>

- ・ビッグ・ディール
- ・FTE (Full Time Equivalent)
- ・ベース価格
- ・TIER
- ・Embargo (エンバーゴ)
- ・サイト・ライセンス



電子ジャーナルの価格高騰への対策

電子ジャーナルタスクフォース

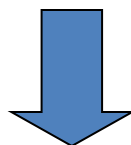
国内電子ジャーナルコンソーシアムの結成

⇒大学間の情報格差の解消を目指し

国立大学図書館協会コンソーシアム (JANUL)

公私立大学図書館コンソーシアム (PULC)

を設立



2011.4.1両者が連携し

「大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE)」が誕生

電子ジャーナルの種類

大別して以下の3種類が挙げられる

→1.出版社 2.アグリゲーター 3. オープンアクセス

1. 出版社

特徴	その出版社のタイトルを、全タイトルもしくは分野ごとのパッケージとして提供
長所	<ul style="list-style-type: none">・ 即時性の高さ&フルテキスト閲覧・ 収録タイトル数が多い・ バックファイルアーカイブの保障
短所	<ul style="list-style-type: none">・ 契約価格が高額・ 毎年の値上がり・ アクセスのないタイトルも購入する場合がある・ 契約形態を変更すると閲覧可能タイトルが急減する

出版社EJの例

The screenshot shows the SciVerse ScienceDirect website. At the top, there are navigation links for 'Hub', 'ScienceDirect', 'Scopus', 'SciTopics', and 'Applications'. A search bar is visible with the text 'Blog This! Biological effects of essential oils - A review'. Below the search bar, there is a banner for 'Download SciVerse Scopus mobile apps today'. The main content area displays search results for 44 articles. The first result is 'Antimicrobial strategies for limiting bacterial contaminants in fuel bioethanol fermentations' by Arunachalam Muthaiyan, Alya Limayem, and Steven C. Ricke. The second result is 'Addressing the challenges of climate change and biofuel production for food and nutrition security' by M.C. Tirado, W.J. Cohen, N. Aberman, J. Meerman, and B. Thompson. The third result is 'The Psychological Impacts of Global Climate Change' by Thomas J. Doherty and Susan Clayton. The fourth result is 'Resurrecting the ghost of green revolutions past: The brown planthopper as a recurring threat to high-yielding rice production in Asia' by Dale G. Bottrell and Kenneth G. Schoenly.

SciVerse ScienceDirect

The screenshot shows the journal homepage for 'Progress in Energy and Combustion Science'. The page features the Elsevier logo and the journal title. The main article is 'Antimicrobial strategies for limiting bacterial contaminants in fuel bioethanol fermentations' by Arunachalam Muthaiyan, Alya Limayem, and Steven C. Ricke. The article is a review published in 'Progress in Energy and Combustion Science, Volume 37, Issue 3, June 2011, Pages 351-370'. The abstract states: 'Bioethanol continues to be offered as a viable solution for complex problems ranging from global warming and national energy security to local economic development. Fuel bioethanol burns cleaner than gasoline, is derived from renewable agricultural products, and creates local jobs and income. In December 2007, President Bush signed into law the Energy Independence and Security Act, which increased the renewable fuel standard that was mandated under energy Policy Act of 2005 to 36 billion gallons by 2022. In order to achieve this goal, ethanol production would need to be generated primarily from corn and cellulosic materials. Bioethanol producers are currently involved in variety of technological innovations to reduce energy consumption and production costs, increased efficiency and reduced emissions using the best available control technologies. However, industrial ethanol fermentation is a non-sterile process and contaminant microorganisms can lead to a decrease in industrial productivity and significant economic loss. Currently, bioethanol industries use different antimicrobials including antibiotics to control the contaminants in the fermentors. The emergence of antibiotic resistance among contaminant bacteria in bioethanol fermentors warrants the need for alternative antimicrobials to retain bioethanol production at a profitable level. In addition more and more ethanol producers are seeking to generate distillers grains that can be labeled antibiotic free to be sold in international markets where some restrictions are already in place for reducing and/or eliminating antibiotics usage in animal feed. This review examines the contamination problems, various intervention methods, emergence of antibiotic resistance in contaminant bacteria, and potential alternative options to elucidate antimicrobial products from various natural sources. In particular, emphasis has been given for natural antibacterial products from plant derived products to suggest a new research avenue for the search of new, non-conventional antimicrobial agents to control the contamination problem in the fuel bioethanol industries.'

電子ジャーナルの種類

2. アグリゲーター

(出版元の異なる多くの電子ジャーナルを包括的に収集・提供するサービスを行う業者)

特徴	小規模出版社や学（協）会と公開契約を結び、各社のジャーナルをアグリゲーターが開発したプラットフォームでまとめて閲覧できる形にして、分野ごとにパッケージングし販売
長所	<ul style="list-style-type: none">・収録タイトル数が多い・分野ごとのパッケージが充実
短所	<ul style="list-style-type: none">・即時性への不安 ⇒ Enbargo（エンバーゴ）・契約終了後のバックファイルアーカイブの不安

アグリゲーターEJの例

新規検索 | 出版物 | シンOPSIS | 著者プロフィール | その他

検索中: Business Source Complete | データベース選択

検索 クリア

2297965 結果

検索結果の見直し

Source Types

検索結果の表示

1. **The Bright Side and Dark Side of Embedded Ties in Business-to-Business Innovation**
 By: Noordhoff, Corine S; Kyriakopoulos, Kyriakos; Moorman, Christine; Pauwels, Pieter; Dellaert, Benedict G.C. *Journal of Marketing*, Sep2011, Vol. 75 Issue 5, p34-52, 19p, 1 Diagram, 4 Charts, 1 Graph; DOI: 10.1509/jmk.75.5.34
 Although the number and importance of joint innovation projects between suppliers and their customers continue to rise, the literature has yet to resolve a key question: Do embedded ties with cus...
 サブジェクト: INNOVATIONS in business; INNOVATION management; BUSINESS-to-business transactions; INDUSTRIAL marketing; RESEARCH; KNOWLEDGE management; SUPPLY chains; SUPPLIERS; SUPPLY chain management; ADVANCED planning & optimization; MARKETING management; PRODUCT management; MARKETING research; Marketing Research and Public Opinion Polling
 データベース: Business Source Complete
 フォルダに追加 | 関連度: ██████████ | 引用文献: (112)
 PDF全文 (352x8)

2. **The Rhetoric of Industrial Espionage: The Case of Starwood V. Hilton**
 By: Jameson, Daphne A.. *Business Communication Quarterly*, Sep2011, Vol. 74 Issue 3, p289-297, 9p; 10.1177/1060569911413811
 When Starwood Hotels charged Hilton Hotels with industrial espionage, the case hinged on an employment two executives had violated. The rhetoric of the employment agreement contras...
 サブジェクト: BUSINESS intelligence; LABOR contract; BUSINESS ethics; TRADE secrets; CONFIDENTIAL information; CONFIDENTIALITY agreements; BUSINESS communication; STARWOOD Hotels & Resorts HILTON Hotels Corp.; CODES of ethics; ESPIONAGE; ETHICS
 データベース: Business Source Complete
 フォルダに追加 | 関連度: ██████████
 PDF全文 (178x8)

結果リスト | 検索の調整 | PDFをダウンロード

PDF全文

資料: Journal of Marketing
 日付: September 1, 2011

この著書内

▼コンテンツ全文

1-5 | 100%

The Reputation-Break... 105

The Bright Side and ... 34

Extreme Makeover: 71

Sh... 100%

Journal of Marketing

▼別の号を選択

The Bright Side and Dark Side of Embedded Ties in Business-to-Business Inno...

Corine S. Noordhoff, Kyriakos Kyriakopoulos, Christine Moorman, Pieter Pauwels, & Benedict G.C. Dellaert

The Bright Side and Dark Side of Embedded Ties in Business-to-Business Innovation

Although the number and importance of joint innovation projects between suppliers and their customers continue to rise, the literature has yet to resolve a key question: Do embedded ties with customers help or hurt supplier innovation? Drawing on both the tie strength and knowledge literatures, the authors theorize that embedded ties interact with supplier and customer innovation knowledge to influence supplier innovation. In a sample of 157 Dutch business-to-business innovation relationships, they observe that embedded ties weaken how much suppliers benefit from customer innovation knowledge because of worries about customer opportunism (the dark side of embedded ties). However, they uncover three moderating relationship and governance features that allow suppliers to overcome these dark-side effects and even increase innovation (the bright side of embedded ties). Finally, although the authors predicted a bright-side effect, they find that embedded ties neither help nor hinder the supplier to leverage its own innovation knowledge in the relationship.

Keywords: embedded ties, knowledge, business-to-business partnerships, innovation, co-creation, dark side, bright side

To reduce costs and increase the effectiveness of innovation efforts, many business-to-business (B2B) firms now engage in joint innovation activities with customers (Anderson, Håkansson, and Johanson 1994; Fang 2008; Von Hippel and Katz 2002). At both the dyadic (e.g., Møller and Halmen 1999) and network (e.g., Achrol and Kotler 1999) levels, there is a sizeable literature on joint innovation activities (Ahuja 2000; Lane and Lubatkin 1998; Powell, Koput, and Smith-Doerr 1996; Rindfleisch and Moorman 2001; Sivadras and Dwyer 2000). The focus of

and Walker 2004; Cavusgil, Calantone, and Zhao 2003), network design and management (Ahuja 2000; Watts, Stremersch, and Dutta 2004), and interorganizational learning (Rindfleisch and Moorman 2001; Uzzi and Lancaster 2003).

Our focus is on the knowledge exchange occurring in vertical (supplier-customer) interfirm innovation relationships. Such exchange is central to innovation because although supplier firms have the knowledge to produce a solution, customer firms have the most knowledge about

EBSCOhost
 Business Source Complete

電子ジャーナルの種類

3. オープンアクセス

特徴	<p>無料でインターネット上で公開されている電子ジャーナルで、以下の2つに分けられる</p> <ol style="list-style-type: none">1) 無料電子ジャーナル（オープンアクセス誌）2) 機関リポジトリ（研究機関が自学で生産された著作物を収集、無料で公開） <p>(※) オープンアクセス →学術雑誌の価格高騰（シリアルズ・クライシス）に対抗して、世界中の大学や研究所で始められた運動。 投稿者が投稿費用を負担したり、政府資金や財団からの資金援助によって運営されているものなどがある</p>
長所	・ 無料公開
短所	・ 論文の品質の不安 ・ 査読誌の出版社（学会）から掲載許諾が得られない場合もある

オープンアクセスの例

DOAJ DIRECTORY OF OPEN ACCESS JOURNALS

SPARC EUROPE AWARD 2009

Free, full text, quality controlled scientific and scholarly journals, covering all subjects and many languages

Search

Browse

Suggest a journal

About

Support DOAJ

Statistics

Contact

Articles

Found 8887 documents matching your query:
All Fields=BUSINESS

Presenting page 1/889

Spirituality at the workplace and its role on organizational justice
Author: Jamshid Salehi Sadaghiani ; Jafar Beikzad ; Sackine jafary ; Saeid Ghorbannejad Maleki *Journal: Management Science Letters* Year: 2012 Vol: 2 Issue: 1 Pages/record No.: 391-396

VIEW RECORD FULL TEXT

A study of how to implement a successful CRM by identifying challenges using DEMATEL method: An empirical study on small to medium business units
Author: Bahman Saeidipour ; Saeid Ismaeli *Journal: Management Science Letters* Year: 2012 Vol: 2 Issue: 1 Pages/record No.: 363-368

VIEW RECORD FULL TEXT

Using fuzzy analytical hierarchy process (AHP) to evaluate web development platform
Author: Ahmad Sarfaraz ; Pooja Mukerjee ; Kouroush Jenab *Journal: Management Science Letters* Year: 2012 Vol: 2 Issue: 1 Pages/record No.: 253-262

VIEW RECORD FULL TEXT

Improving efficiency of decision making units through BSC-DEA technique
Author: Amir Reza Khaki ; Seyed Esmael Najafi ; Sadra Rashidi *Journal: Management Science Letters* Year: 2012 Vol: 2 Issue: 1 Pages/record No.: 245-252

VIEW RECORD FULL TEXT

An empirical study on measuring the effect of layoff on job satisfaction and employee commitment: A case study of detergent producer unit
Author: Abolfazl Tajzadeh-Namin *Journal: Management Science Letters* Year: 2012 Vol: 2 Issue: 1 Pages/record No.: 213-220

VIEW RECORD FULL TEXT

Management Science Letters 1 (2012) 391-396

Content lists available at GrowingScience

Management Science Letters

homepage: www.GrowingScience.com/ml

rkplace and its role on organizational justice

iani^a, Jafar Beikzad^b, Sackine jafary^b and Saeid Ghorbannejad Maleki^b

^aDepartment of Management, Allameh Tabatabaeei University, Tehran, Iran
^bDepartment of Public Management, Islamic Azad University, Boushehr branch, Boushehr, Iran

ARTICLE INFO

Article history:
Received April 15, 2011
Received in Revised form July 19, 2011
Accepted 01 July 2011
Available online 24 July 2011

Keywords:
Spirituality
Working environment
Efficiency
Competition

ABSTRACT

Spirituality and ethics play important roles in bringing justice for many business units. During the past few years, there has been growing concern on thinking about profitability without considering other aspects such as spirituality. The infamous Enron incident has been a crystal clear of a case of thinking just on short-term profitability without considering other ethical issues. Spirituality helps organizations create ethical values, responsibility and job satisfaction among workers and these issues could increase business competitive advantages. In this paper, we study the impact of spirituality on different levels of individual, workspace and organizational for a real-world case study. The survey results of this paper indicate that spirituality could significantly impact the organization in different levels.

© 2012 Growing Science Ltd. All rights reserved.

1. Introduction

During the past few years, there has been growing interest in studying the impact of spirituality in working environments (McCormick, 1994; Rifkin, 1995; Mitroff & Denton, 1999; Gibbons, 1999; Gibbons, 2002; Rojas, 2002). The idea is that many business units would not have failed had they believed to strong sense of spirituality in their working environment. The infamous incident of Enron has created tremendous motivation on paying more attention on spirituality among workers. There have been many theoretical models to study how spirituality could contribute to working environments.

DOAJ
(Directory of Open Access Journals) に採録されている
オープンアクセス雑誌

電子ジャーナルの種類

<その他>

冊子付録の無料EJ

冊子とセットで価格設定されているEJ



電子ジャーナルが活用されるために

ファインダビリティの向上

利用者がEJの存在を知らない

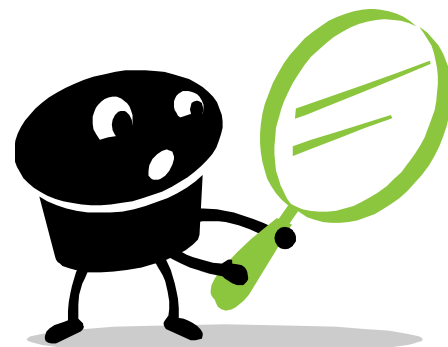
⇒タイトルリストの整備

⇒講習会

⇒リンクリゾルバの活用

自学は教育志向？研究志向？

ニーズの分析



電子化への対応

電子ジャーナルパッケージの長期的導入計画の立案例

フェーズ1	導入に際し教員・財務当局のコンセンサスを得る
フェーズ2	導入希望パッケージ・分野について、利用者アンケート実施
フェーズ3	<ul style="list-style-type: none">・ 冊子体継続購入タイトルの見直し → 冊子体で残すコア雑誌の選定・電子に置換可能な雑誌の選定・ 冊子→電子の切り替えによるコスト削減の検証
フェーズ4	<ul style="list-style-type: none">・ 出版社系電子ジャーナルの選定・ 分野・優先順位の決定
フェーズ5	出版社系電子ジャーナル導入
フェーズ6	アグリゲーター系電子ジャーナル選定
フェーズ7	アグリゲーター系電子ジャーナル導入
同時進行	オープンアクセスソースの積極的導入 各種データベースの導入

参考文献

- 1) 渡邊隆弘. "3.2 雑誌収集の実際". 逐次刊行物. 光斎重治編著. 改訂第2版, 東京, 日本図書館協会, 2000, p.60-74 (図書館員選書, 5)
- 2) 大学図書館の仕事制作委員会. 知っておきたい大学図書館の仕事 現場に即した業務ガイドブック. 東京, エルアイユー, 2006, 182p
- 3) 日本図書館協会目録委員会. "13.0 通則". 日本目録規則. 1987年版改訂3版, 東京, 日本図書館協会, 2006, p.260
- 4) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会. 図書館情報学用語辞典. 第2版, 東京, 丸善, 2002
- 5) 東北地区大学図書館協議会研修部会. 大学図書館職員初任者マニュアル. 2011, p.29-33
- 6) 富岡達治. 外国雑誌「初任者」のための基礎知識. 情報の科学と技術. 2009, vol.59, no.6, p.256-261
- 7) 城山泰彦, 小野寺夏生. 外国雑誌選定の際考慮すべきことから. 情報の科学と技術. 2009, vol.59, no.6, p.275-280
- 8) 武藤記子. "雑誌業務". 平成22年度大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修「初任者研修」資料. 大学図書館近畿イニシアティブ (Webページ), 入手先〈 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/initia/training/index.html>〉, (参照2011-11-7).
- 9) "雑誌". デジタル大辞泉. ジャパンナレッジ. (オンラインデータベース), 入手先〈 <http://www.jkn21.com/body/display/>〉, (参照2011-11-8).